

【別紙様式2】

千葉県県土整備部所管公共事業事前評価自己評価調書

事業名	一般国道128号茂原一宮道路二期
担当課名	道路計画課

1. 事業の概要

(1) 事業の目的	<p>「茂原・一宮・大原道路」の一部である茂原一宮道路（長生グリーンライン）は、「館山・鴨川道路」や「鴨川・大原道路」とともに、千葉県の広域ネットワークを構成する高規格道路である。「茂原・一宮・大原道路」は、長生郡長南町といすみ市を連絡し、圏央道と接続することで、外房地域の発展を担い、長生・夷隅地域の振興を促進する道路である。</p> <p>茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南ICと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約7.2kmの区間が事業中であり、平成25年の圏央道の開通にあわせ、国道409号から圏央道の茂原長南ICまで約0.7km、令和2年5月に茂原長南ICから町道利根里線まで1.5kmの供用を開始しており、残る広域農道から県道南総一宮線バイパス間の5.0kmの整備を茂原一宮道路二期として進める事業である。</p> <p>茂原一宮道路の茂原市三ヶ谷から一宮町一宮間の整備により、圏央道の整備効果を長生・夷隅地域へ広く波及させ、県内外との交流・連携を強化し、地域経済の活性化や防災力の向上を図る。</p>		
(2) 事業の内容			
①事業期間・時期	事業期間：10年間		
②事業規模	延長：5.0km 幅員：9.5m（2車線）		
③事業費	全体事業費：170億円		
④事業位置	茂原市三ヶ谷～長生郡一宮町一宮		
(3) 指標			
①事業目的	②指標	③現状値	④目標値
地域の利便性向上	所要時間の短縮		
	① 釣ヶ崎海岸～茂原長南IC ② 一宮町役場～東千葉メディカルセンター	①42分 ②52分	①22分 ②33分
交通の円滑化・安全性の向上	混雑度の緩和 (R128 宮原交差点北側)	交通量173 百台/日 混雑度1.24	交通量127 百台/日 混雑度0.91
地域防災機能の強化	盛土構造等による災害に強い道路構造の確保	主に国道128号、国道409号	茂原一宮道路を経由した代替経路の確保
救急医療活動の支援	第3次救急医療施設（東千葉メディカルセンター）までの30分圏域人口・面積の拡大（長生地域）	人口 50,627人 面積 84km <sup>2</sup>	人口 56,423人 面積 99km <sup>2</sup>

2. 県が実施する必要性

<p>(1) 現状及び課題</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>長生地域は、平成25年の圏央道（東金JCT～木更津東IC間）の開通後、観光入込客が増加しており、特に、一宮海水浴場や釣ヶ崎海岸を有する一宮町ではサーフィンを目的とした来客が増加傾向にあり、高いポテンシャルを有している。しかし、現道の一般国道128号や一般国道409号は交通渋滞が発生するとともに、混雑度が1.0を超える区間が続いており、旅行速度も県平均（28.9km/h）を下回るなど、地域住民の利便性、観光振興、防災・救急活動に支障が生じている。</p> <p>現道の死傷事故率は49.1件/億台キロであり、県平均の43.1件/億台キロを上回る区間が存在する。</p> <p>また、第三次救急医療機関が存在しない長生地域では救急搬送に30分以上を要するエリアの割合が大きい。</p> <p>長生・夷隅地域の東西を結ぶ主要な幹線道路である現道の一般国道128号、一般国道409号は、約3.5kmが浸水想定区域を通過しており、緊急輸送道路としては脆弱である。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域道路ネットワークの未整備</li> <li>・一般国道128号、409号現道の交通渋滞の発生</li> <li>・一般国道128号、409号現道の交通事故による安全性の低下</li> <li>・災害時における緊急輸送道路の脆弱性</li> <li>・救急・救命活動への支障</li> </ul>
<p>(2) 上位政策及び全体計画との関連</p>	<p>茂原一宮道路を含む「茂原・一宮・大原道路」は、千葉県広域道路交通ビジョン・計画（令和3年6月策定）において、全国や県内各地との交流や連携の強化、平常時・災害時を問わない安定的な人・モノの流れを確保するため、高規格道路に位置付けている。</p> <p>茂原市都市計画マスタープラン(平成24年7月策定)、一宮町都市計画マスタープラン(平成27年3月策定)、睦沢町まち・ひと・しごと創成 総合戦略(令和3年4月策定)において、広域ネットワークと一体となった道路整備、一般国道128号・一般国道409号などの渋滞緩和のため、茂原一宮道路の整備促進が位置付けられている。</p>
<p>(3) 優先度及び適時性</p>	<p><b>【優先度】</b></p> <p>茂原一宮道路は、圏央道と接続することで、外房地域の発展を担い、長生・夷隅地域の振興を促進する道路である。</p> <p>また、千葉県の広域道路ネットワークを形成する高規格道路であり、整備の優先度は高い。</p> <p><b>【適時性】</b></p> <p>茂原一宮道路は、これまで長南町千田から千手堂まで0.7kmが平成25年4月、長南町千手堂から坂本まで1.5kmが令和2年5月に供用しており、現在、事業中である長南町坂本から茂原市台田までの2.5kmの区間は、令和5年度に供用の予定である。また、令和6年度には圏央道の大栄・横芝間の供用が予定されている。</p> <p>圏央道の整備効果を長生・夷隅地域へ波及させ、外房地域の発展を促進するため、早期に整備を進める必要がある。</p>

(4) 代替案との比較	一宮川並行案（現計画案）、現道拡幅案、睦沢町側通過案による3案比較した結果、集落への影響を極力避け、整備された圃場と整合を図り、農地の斜め横断を極力回避したルートである現計画が最も優位である。
-------------	--

### 3. 経済的・社会的効果

<p>○ 国土交通省のマニュアルに基づく茂原一宮道路の費用便益分析の結果、3便益の現在価値化後（基準年令和4年度）の金額は、走行時間短縮便益で118億円、走行経費減少便益は15億円、交通事故減少便益は6億円であり、費用便益比(B/C)は1.2と便益が費用を上まわっている。一体評価では走行時間短縮便益で431億円、走行経費減少便益は39億円、交通事故減少便益は11億円であり、費用便益比(B/C)は1.4である。</p> <p>○ 茂原一宮道路の全線整備により、以下の効果が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域道路ネットワークの形成</li> <li>・一般国道128号、409号現道の通過交通の転換による交通の円滑化・安全性の向上</li> <li>・渋滞緩和による地域の利便性の向上（観光振興へ寄与）</li> <li>・災害などに強い道路整備により緊急輸送道路ネットワーク・リダンダンシーの強化</li> <li>・救急医療施設へのアクセス性向上による救急医療活動の支援</li> </ul>
--

### 4. 財政的負担等の見通し

<p>当該事業は、国庫補助事業を活用して事業を進める予定である。</p> <p>なお、事業着手後は、設計において最新技術の活用等を検討しコスト削減に取り組む。</p>
---

### 5. 環境に与える影響

<p>本事業の実施にあたり環境影響予測を実施した結果、供用時にはいずれも基準値内の予測値であったが、事業の実施にあたっては、低騒音及び低振動の工法、建設機械の採用などを行っていく。</p>		
項目	予測結果	基準
二酸化窒素	基準の範囲内	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること
騒音	基準の範囲内	騒音に係る環境基準（B地域、2車線以下、昼間65dB、夜間60dB）以下
振動	基準の範囲内	第2種区域の要請限度（昼間70dB、夜間65dB）以下
植物	影響なし	環境要素を相当程度保全する
動物	影響なし	環境要素を相当程度保全する
景観	影響なし	環境要素を相当程度保全する

### 6. 総合的な評価

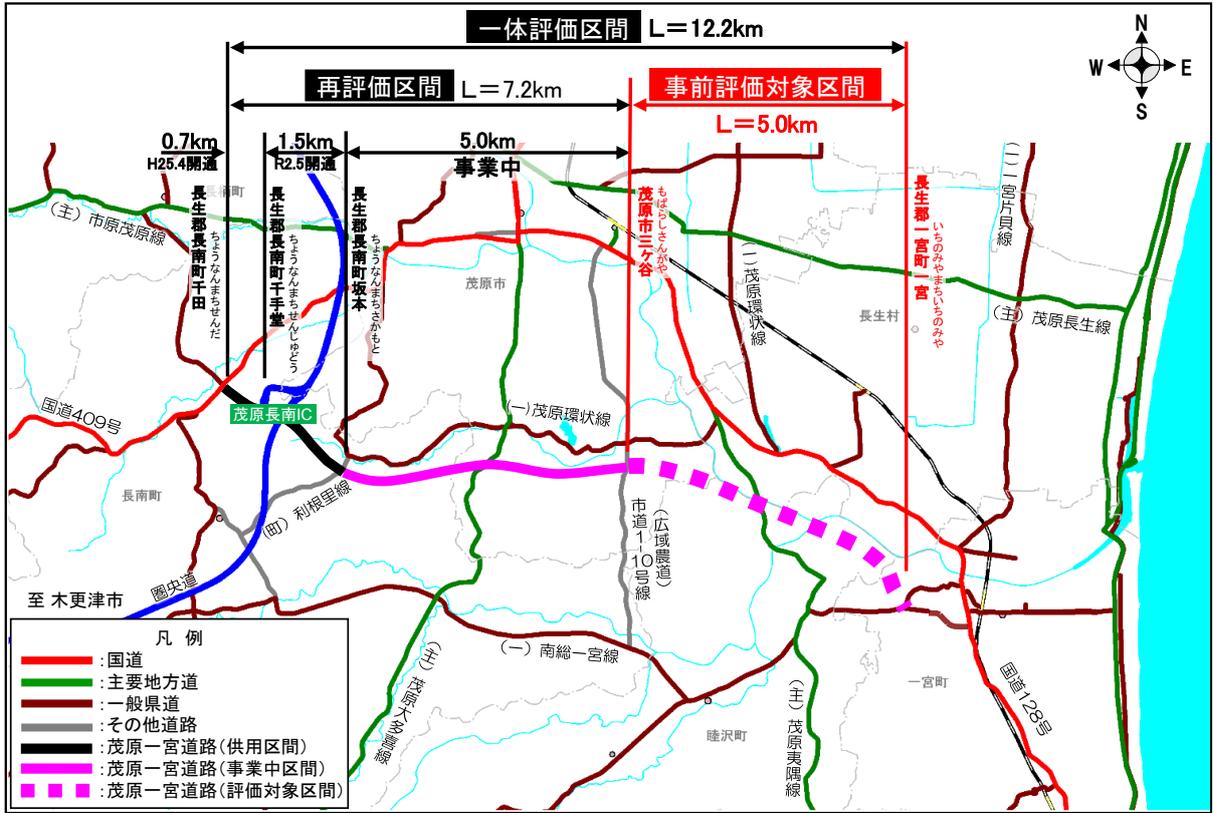
<p>本事業は、費用便益分析の結果B/Cが1.4であり投資効果が認められるとともに、地域の利便性の向上、交通混雑の緩和が図られ、救急医療活動の支援、防災等の効果が期待できるため、令和5年度から事業に着手し、早期整備を図る。</p>
---

【別紙様式3】

# 事業概要図

事業名	一般国道128号 茂原一宮道路二期	路線又は箇所名等	一般国道128号
-----	----------------------	----------	----------

【計画平面図】



【位置図】



【計画横断面図】

